



**第45回電源地域
担当者講習会を
開催しました**

平成28年1月22日(金)の午前9時50分から午後3時まで、東京・築地の「全国情報サービス産業厚生年金会館」(JJK会館) 2階の多目的ホールで第45回電源地域振興担当者講習会を開催しました。

この講習会は当センターが主催で開催しており、毎回、全国の電源立地市町村をはじめ、地域振興に関係ある皆様にご参加いただいています。

国の諸政策や専門家による講演、事例発表など、地域振興関連の諸情報を得ることができると、毎回ご好評いただいております。



(左) 経済産業省 地域経済産業政策課の課長補佐 河地俊彦氏
(右) 資源エネルギー庁 電力基盤整備課の課長補佐 森本将史氏
(左下) 三菱総合研究所の政策公共部門副部長 平石和昭氏
(右下) 玄海町の吉森祐優樹氏

今回の講習会では、経済産業省の地域経済産業政策課から「平成28年度まち・ひと・しごと創生関連事業」資源エネルギー庁電力基盤整備課から「原子力立地地域への支援について」のご説明をいただきました。

また、三菱総合研究所の平石和昭政策公共部門副部長から「地方創生の『攻め』と『守り』〜日本の成長は地方創生から始まる〜」と題した基調講演をしていただきました。

今回の講習会では、経済産業省の地域経済産業政策課から「平成28年度まち・ひと・しごと創生関連事業」資源エネルギー庁電力基盤整備課から「原子力立地地域への支援について」のご説明をいただきました。

また、三菱総合研究所の平石和昭政策公共部門副部長から「地方創生の『攻め』と『守り』〜日本の成長は地方創生から始まる〜」と題した基調講演をしていただきました。

その中で平石氏は、地方創生においては地域コミュニティにおける住民が異質性・多様性を包み込み、信頼関係や互恵関係のネットワーク化、即ち、社会関係資本を豊かにする必要性があることを強調しました。

そして、その社会資本の醸成のために、地域資源や郷土愛を大切にしながら、様々な分野や業種の人たちと協働して、地域個性に基づいた「価値」を創り出す



会場風景

【お問合せ】
地域振興部 振興業務課
☎03-6372-1730
eメール: soumu@dengen.or.jp



**竹田市と田辺市で
「地元開催型
産品相談・商談会」
を開催しました**

平成27年11月16日(月)・17日(火)に、大分県竹田市において竹田商工会議所主催で、講演会と市内の店舗視察、相談・商談会の開催といった盛りだくさんの内容の「地元開催型産品相談・商談会」を開催しました。



竹田市の「産品相談・商談会」



竹田市のイオン九州(株) 産地開発部 立石弘司氏の講演

16日の午後からの講演会には17の事業者が参加し、「売れる産品をどうつくる?」という演題でイオン九州(株)産地開発部の立石弘司氏から講演をいただき、その後、市内の3軒の店舗を視察しました。

翌17日の「産品相談・商談会」では、2名のアドバイザーから10の参加事業者に対し、様々なアドバイスが送られました。

平成27年11月26日(木)・27日(金)には、和歌山県田辺市においても、田辺周辺広域市町村圏



田辺市の「産品相談・商談会」



田辺市の現地調査

組合の主催で「地元開催型産品相談・商談会」を開催しました。

参加団体は田辺市、みなべ町、白浜町の12事業者で、3人のアドバイザーから様々なアドバイスをいただきました。

この「地元開催型産品相談・商談会」は、アドバイザーが実際に電源市町村に向いて実施するオーダーメイド型の「相談・商談会」です。地元で実施することで、参加者の時間的・経済的負担が軽減されることや、現地訪問によりバイヤーの地域への認知度が向上し、実施後もバイヤーと相談・商談しやすい関係の継続が期待できます。

今回の田辺市における開催でも、アドバイザーが現地の産品販売施設や地元の産業施設の視察を行い、その上で様々な商品のアドバイスをさせていただきました。

アドバイザーの感想として、完成度の高い商品もあり、この地域の商材に魅力を感じる。「催事に出展してみたらどうか」「梅を軸に、この地域全体で盛り上げてほしい」などの意見が寄せられました。

【お問合せ】
地域振興部 振興業務課
03-6372-7305
eメール: hanbai@dengen.or.jp



研修事業 No.6とNo.7を 開催しました

平成28年1月28日(木)・29日(金)に、電地域振興センター会議室において、研修No.6「農業で地域を元気に」地域農業の活性化策を学ぶ」が開催されました。

28日は、宮城大学名誉教授の大泉一貫氏から「農業を成長産業にするために」と題した基調講演があり、その後2例の事例紹介がありました。

最初に、兵庫県養父市から、『国家戦略特区と地方創生』(小さなまちの大きな挑戦)と題して兵庫県養父市企画総務部 国家戦略特区・地方創生課課長の谷徳充氏が、次に「農業は魅力ある職業『かみなか農学舎』



の思い(農業で地域を元気に！)次世代リーダーの育成」と題して、「生産法人かみなか農学舎」の事業責任者八代恵里氏から紹介がありました。

翌29日は、株式会社農業技術通信社代表取締役・月刊「農業経営者」編集長の昆吉則氏による「水田でどうもろこし生産が日本の農業を変える(農業・農村は宝の山)」自治体職員として今知っておくべきこと」と題した講演が行われ、その後、昆氏と参加者によるト



【上】東京富士大学 経営学部教授 岡星竜美氏
【左下】「古民家こずえ」の女将・梢正美氏
【右下】御嵩町役場の元まちづくり課の栗谷本真氏

【左上】宮城大学 名誉教授 大泉一貫氏
【右上】養父市 企画総務部 国家戦略特区・地方創生課課長 谷徳充氏
【左下】「生産法人かみなか農学舎」事業責任者 八代恵里氏
【右下】月刊「農業経営者」編集長 昆吉則氏

ークセッションが行われました。
平成28年2月18日(木)・19日(金)の両日は、研修No.7「地域資源を活用した地域ブランドづくりを学ぶ」が電源地域振興センター会議室で開催されました。
18日は、東京富士大学経営学部教授の岡星竜美氏による「大公開！地域ブランドづくりに使えるイベント道具箱」と題する基調講演が行われました。その後、参加者によるワークショップが行われました。
19日は、事例として「若者×集落deまちが変わる」自治体のサポート体制が重要なカギ！」と題した農家民宿「古民家こずえ」の女将・梢正美氏と、岐阜県御嵩町役場の元まちづくり課の栗谷本真氏から「手作りの景観修景」と「交流イベン

ト」による宿場町の活性化(自信と誇りの持てるまちづくりを目指して)」と題する発表がありました。

【お問合せ】
地域振興部 振興業務課
03-6372-7305
eメール: kensyu@dengen.or.jp



平成28年度 専門家派遣事業の ご案内

この事業は、電源地域が抱える様々な課題を解決するために、専門家を地域に派遣し指導することにより、政策立案や実施体制の構築に向けた支援を行い、地域の振興発展・地域住民の福祉の向上に寄与することを目的にしています。

本年度の事業採択件数は25件程度を予定しており、お申込み方法等につきましては当センターのホームページに記載していますので、ご覧ください。

【お問合せ】
地域振興部 振興調査課
03-6372-7309
ホームページ: <http://www2.dengen.or.jp/html/works/sinko/semmon.html>
eメール: semmon@dengen.or.jp